

本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ最新情報をお知らせする目的で配信しております。  
メール配信を希望されない方は「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。

コーディネーターコラム  
社会連携・知財戦略室  
特任助教 大橋 美紗希

6月1日より社会連携・知財戦略室に着任した産学連携コーディネーターの大橋美紗希と申します。これまでの経歴をご紹介しますと、大学では建築・ランドスケープを学び、大学院では野外微生物の探索に取り組んでまいりました。前職では国立研究機関の事務職員として海外経理や広報を担当し（この間、社会人大学院生をしておりました）、その前は分譲住宅地の外構設計士として務めておりました。

現在は、知財の先生方のサポートを受けながら大学のシーズについて学んでいます。コーディネーターのなかでは異色の経歴であるので、物珍しい存在との印象を持たれるかもしれませんが、私自身どのように山梨の発展に貢献できるか模索しているところです。以下、詳細な自己紹介を通じて、皆さまにご理解いただけるよう努めます。

私は研究が好きで、幅広い分野に興味を持っています。これまで文化的景観や微生物を対象に研究に取り組みましたが、どの分野も同じくらい面白いと感じました。また、前職で所属した研究機関は、途上国の農林水産業を研究対象とするという面白い特徴があり、そこで事業紹介や研究ポスター等作成する仕事を担当しました。これもまた楽しい取り組みで、新しいことを知ることは面白く、それらを組み合わせたり、ビジュアル化、パッケージ化してみたりするとさらに楽しく感じられるのだと気づきました。

また、分譲住宅地の設計士としては、街のコンセプトを企画し、それに沿って統一したデザインを設計する仕事をしていました。この取り組みは、研究成果を（勝手ながら）頭の中で組み合わせ、様々な可能性を想定する作業に似ています。このため、これまでの経験を総動員することで、大学と企業様の関係構築、産業の発展に貢献できるのではないかと考え、コーディネーターになることを決めました。

以上、他のコーディネーターの先生方とは異なった経歴を持つ私が、どのように皆さまのお仕事をお手伝いできるか、少しでもご理解いただければ幸甚です。皆さまと協力して山梨の産業・文化をさらに輝かせるよう努力してまいります。

インフォメーション 目次

- 01： プレスリリース ( 2 件)
- 02： トピックス ( 2 件)
- 03： イベント情報 ( 1 件)
- 04： 山梨大学特許公開情報 ( 2 件)
- 05： 事務局からのお知らせ

---

◆「水素・燃料電池産業技術人材養成講座」及び「医療機器産業技術人材養成講座」事業化コースの新設・受講生の募集開始のご案内

この度、水素・燃料電池及び医療機器関連産業分野を新たな経営の柱にすることを旨とする県内中小企業等の方々を対象に、経営戦略等を立案できるような人材の育成を図るため、それぞれの講座に事業化コースを新設、今年度の受講生の募集を開始しましたので、お知らせいたします。

【水素・燃料電池産業技術人材養成講座事業化コース】

開催期間：令和6年8月下旬～（14コマ、20時間）  
場 所：山梨大学 水素・燃料電池ナノ材料研究センター ほか  
内 容：国内外市場動向、技術マーケティング戦略、提案書作成、展示会での情報収集・営業活動、フォローアップなど

【医療機器産業技術人材養成講座事業化コース】

開催期間：令和6年8月下旬～（10コマ、15時間）  
場 所：山梨大学 融合研究臨床応用推進センター ほか  
内 容：経営戦略、事業化のポイント、医療機器製造に関する要素技術、製造ライン見学、展示会での情報収集・営業活動など

詳しい内容については、下記 URL よりご覧ください。

<https://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2024/07/20240716pr2.pdf>

◆クラウドファンディングによる研究資金の募集開始

「患者さんに寄り添う医師・看護師を、地域で育てるための体制整備へ」

山梨大学医学部附属病院臨床教育部は、医学教育の現場で活躍されている模擬患者の育成・支援体制の拡充を目指すプロジェクトを立ち上げました。

クラウドファンディング概要

詳細ページ：<https://readyfor.jp/projects/yamanashiSP>

【プロジェクト名】「患者さんに寄り添う医師・看護師を、地域で育てるための体制整備へ」

【募集期間】令和6年9月13日（金）23時まで

【目標金額】420万円

【使用目的】ご支援いただいた寄附は、模擬患者さんへの謝金、模擬患者さんの資格取得に向けた費用などの一部として大切に使用させていただきます。

詳しい内容については、下記 URL よりご覧ください。

<https://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2024/07/20240716pr.pdf>



■02 トピックス ( 2 件)

◆大村記念微生物資源研究フロウティラ開所

本学の微生物分野の研究は、ノーベル医学・生理学賞を受賞された本学卒業生・大村智特別荣誉博士の輩出など数多くの実績を有しており、この度、本学の新たな強み・特色となりうる分野として、研究組織「大村記念微生物資源研究フロウティラ」を立ち上げました。

詳しい内容については、下記 URL よりご覧ください。  
<https://www.yamanashi.ac.jp/48454>

#### ◆ブドウ栽培支援ロボットの实演会実施

本学が代表機関となり山梨県及び県内企業等とともに構成する「人間・ロボット協働型シャインマスカット栽培体系構築コンソーシアム」は、山梨県が誇るブドウ「シャインマスカット」の栽培における房づくり、摘粒、収穫作業の工程の効率化を図るための人工知能（AI）技術、それを搭載したスマートグラス・栽培支援ロボットを開発しており、現在開発中の「ブドウ栽培支援ロボット」について、ブドウ生産者に向けた実演会を実施しました。

YouTube UTY テレビ山梨公式チャンネル  
[https://www.youtube.com/watch?v=Cz\\_WgthqQc4](https://www.youtube.com/watch?v=Cz_WgthqQc4)  
ベテラン農家の技を再現  
AIが見極め！ブドウ栽培支援ロボット初公開



■03 イベント情報 ( 1 件)

---

#### ◆大学見本市 2024～イノベーション・ジャパン開催

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が主催する「大学見本市 2024～イノベーション・ジャパン」が下記の通り開催されます。本学からも出展しますので、是非ご登録の上、ブースへご来場ください。

##### 【開催日時】

8月22日(木) 10:00～17:00  
8月23日(金) 10:00～17:00

##### 【開催場所】

東京ビッグサイト南展示棟南1ホール  
東京都江東区有明3丁目11番1

##### 【入場方法】

入場無料(来場登録制)  
公式サイトにて事前来場登録受付中  
<https://innovationjapan.jst.go.jp/>

##### 【本学出展研究者】

代表研究者：武田 哲明  
タイトル：浅層地中熱利用型空調・給湯ヒートポンプの開発と実証  
<https://innovationjapan.jst.go.jp/exhibitor/C-027/>



■04 山梨大学特許公開情報 ( 2 件)

---

本学整理番号：P22-031  
出願番号：特願 2022-190807 出願日：2022/11/29  
公開番号：特開 2024-078325 公開日：2024/06/10  
発明の名称：腸由来細胞においてCLEC7Aの発現を誘導するための組成物及びCLEC7Aを発現する腸由来細胞を取得する方法  
出願人：国立大学法人山梨大学

発明代表者 : 望月 和樹 先生

発明の概要 :

【要約】

【課題】炎症性腸疾患は、現在、完治させる薬剤はなく、また、薬剤により寛解を維持することも難しく、患者の QOL を著しく低下させる。

【解決手段】本発明者らは、難消化性炭水化物(食物繊維やオリゴ糖)に分類されるフラクトオリゴ糖が腸由来細胞において CLEC7A の発

現を誘導させることを明らかにした。本発明の目的は、フラクトオリゴ糖を含む、腸由来細胞において CLEC7A の発現を誘導するため

の組成物を提出することである。

<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/c1801/PU/JP-2024-078325/11/ja>

-----  
-----  
本学整理番号 : P22-032p

出願番号 : 特願 2023-034550 出願日 : 2023/03/07

公開番号 : 特開 2024-086520 公開日 : 2024/06/27

発明の名称 : 糖尿病合併症発症方法及び評価方法

出願人 : 国立大学法人山梨大学

発明代表者 : 石山 詩織 先生

発明の概要 :

【要約】

【課題】遺伝子改変を伴わず胚や栄養環境変化によって糖尿病が誘発される動物モデルに対し、急性合併症を発症させること、及び、糖尿病合併症の予防薬、治療薬、予防方法、及び治療方法の効果を評価する評価方法を確立することを目的とする。

【解決手段】遺伝子改変がなされていないマウスの受精胚を所定の培地で培養する培養工程と、前記培養した受精胚を仮親に移植する移植工程と、前記仮親から産出子を産出する産出工程と、前記産出工程で産出した産出子を高脂肪食で飼育する飼育工程と、前記飼育工程で飼育した前記産出子に低濃度の感染性炎症惹起物質を投与する工程とを備える。

<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/c1801/PU/JP-2024-086520/11/ja>

□ ■

■ 05 事務局からお知らせ

◆技術課題等、ご相談について

技術課題や大学の知恵を借りたいなど、ございませんでしょうか。

会員会社様の持っておられる技術課題を伺います。

ご希望の会員様がございましたら、事務局までお気軽に連絡してください。

- 
- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
  - 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。

■ □ ■

-----

■ □ ■

■ □ ■